

和歌山東南ロータリークラブ 【週報】

会長 小林一三 幹事 土屋一博 会報委員長 松田敏明

事務局 E-Mail : rotary@wakayama-serc.org <http://wakayama-serc.org/>

例会日 水曜日 例会場:ホテルパローム紀の国 第1,第2,18:30~(夜) 第3,第4,第5,12:30~(昼)



会場監督 山本将人

ゲスト : 「 例会見学 」 中村 誠様

《 会長挨拶 》 小林一三 会長

皆さま、こんにちは。まだまだ暑い日が続いている中、本日も例会にご出席いただき、ありがとうございます。

先日、私は「旭日双光章」（きょくじつそうこう章）受賞の祝賀会に出席する機会をいただきました。受章された方は、私と同業の不動産鑑定士で、本部連合会の副会長を永年勤められた方です。旭日章は、国や公共に対して永年にわたり功績を積み重ねてきた方々に贈られる、とても名誉ある勲章です。特に双光章は、地域や社会のために尽くされた方に与えられるもので、その重みを改めて実感いたしました。

受章された方のあいさつで、特に印象に残ったのは、なんどもなんども、「この章は自分だけのものではなく、仲間と一緒にいただいたものです」とお話しされていたことです。

永年の奉仕や努力を「継続」してこられた方ならではの言葉であり、深く心に響きました。

私はその言葉を聞いて、「ロータリーも同じだな」と思いました。奉仕活動は、一人ではなかなかできるものではありません。小さな力でも、仲間と力を合わせることで大きな成果になり、仲間と一緒に汗を流すことこそが、「ロータリー章」ではないか感じました。

もうひとつ、叙勲祝賀会の場で感じたのは「継続の力」です。

永年業界及び社会に尽くしてこられたからこそ、このような榮譽につながるのだと実感しました。ロータリーの活動もまた、毎週の例会や奉仕活動の積み重ねが大切であり、その継続がロータリアンの誇りであり使命なのだと思います。

ロータリーの奉仕活動を通じて「ありがとう」という言葉をいただいた、その瞬間こそ、私たちにとっての勲章であり、奉仕活動を継続する励みになるのではないのでしょうか。

これからも「奉仕の理想」で仲間と共にロータリー活動を継続していきたいと思います。

最後に、私の自慢話の一つ、

先月、和歌山市から、「和歌山市自治功労章」をいただきました。これは、町内会長を永年してきた功労章で、大きな「功労状」と功労章バッジとメダルをいただきました。

永年町内会長をやって、ちょっとうれしかったです。






よいことのために手を取りあおう

2025-26年度 国際ロータリー会長のメッセージ

本日の出席報告											
会員総数	33名	8月	出席者	出席率	寄付金	ニココ	米山記念 奨学会	ロータリー 財団	東南 育英会	55周年 BOX	
出席免除会員	4名	27日	23名	74.19%	累計	392,000	0	0	50,000	1,275,518	

《 幹事報告 》 土屋一博 幹事

- ① 8月12日(火)に故 釜中甫干会員 初盆に小林会長、私 幹事と2名でお参りさせていただき、クラブより「フルーツの缶詰詰め合わせ」をお供えさせていただきました。
- ② 元会員 青木 敏様の初盆に8月12日(火) 小林会長、竹中会員、吉田会員、私 幹事と4名でお参りさせていただきました。
- ③ 2件事務局に届いておりますので、各テーブルに一部置いています。
ご一読頂き、御入用の方はお持ち帰り下さい。
 - ・わかやま新報 暑中見舞い広告掲載 8月1日(金)
 - ・日本ライトハウス (目の見えない方・見えにくい方のための総合福祉施設、盲導犬育成応援)からの News letter フォワード 79
- ④ 第23回ロータリー全国囲碁大会のご案内。申込締め切り 10/31日(金)
日時・場所:11月8日(土)10:00~16:00、東京市ヶ谷の日本棋院本院1階対局室
主催:ロータリー囲碁同好会、ホストクラブ:第2580・2750地区、参加料:9,000円
- ⑤ 地区大会ゴルフの案内が届いております。
日時:10月20日(月) 受付 7:00、トップスタート 8:05、登録費:10,000円
場所:レオグラードゴルフクラブ、締切:9月19日(金)
出欠記入表を回覧いたしますので、ご記入よろしくお願いたします。
- ⑥ 和歌山県薬務課より令和7年度県麻薬・覚醒剤乱用防止運動の実施について。
のお知らせが届いております。 実施期間:10月1日~11月30日
目的:令和6年の大麻事犯の検挙人員は6,000人を超え、全体の7割以上が30歳未満の若年層であるなど、薬物乱用による危害を広く県民に周知し、県民一人一人の認識を高めることにより、薬物乱用の根絶を図ることを目的とする。
実施事項:①広報機関等による啓発 ②和歌山県薬物乱用防止指導員、関係団体との連携による啓発 ③教育の現場等における啓発 ④相談制度の周知



《 ニコニコ箱報告 》 鯨坂恒夫 会計

小林君:中曾会員 本日の卓話楽しみにしてました。
土屋君:中曾さん 本日卓話「シンジロウのシンジツ」楽しみにしています。

《 55周年 BOX 》

小林君:趣旨に賛同して。
土屋君:本日体験例会の中村様 ようこそお越しくございました。
今後共よろしくお願いたします。
保田君:今日は。今日は何の日…?
平君:IDM D班 残金です。
中曾君:中村様 本日はようこそお越しくございました。
松田君:中曾先生 声を張って、よろしくお願いたします。
鯨坂君:中曾さんの卓話たのしみです。



次回 9月3日(水) 18:30~の例会は
IDM発表① ローラー情報・規定委員会
*第2回 IDM テーマ発表





税理士とは

税理士法第一条で「税理士は、税務に関する専門家として、独立した公正な立場において、申告納税制度の理念にそって、納税義務者の信頼にこたえ、租税に関する法令に規定された納税義務の適正な実現を図ることを使命する。」とされています。

税理士の主な業務

税務代理、税務書類の作成、税務相談、その他

最近の税務調査の傾向

KSK（基幹システム）を活用、比較的年齢が低い調査官、AIによる調査先の選定

システムの高度化

KSK（現状）から KSK2（令和 8 年度）

e-TAX と KSK システムの統合

調査先からの参照が可能となる

調査の種類

任意調査（質問検査権に基づく調査→通常の税務調査）

罰則があるので間接強制

犯則調査（悪質な脱税者に対して行う）

裁判官の許可状

国税局査察部が主に担当

令和 5 年事務年度の調査事績の概要（法人税）

実地調査件数 59 千件（うち非違件数 45 千件）

調査 1 件当たりの申告漏れ所得金額 16, 597 千円（追徴税額 3, 582 千円）

不正発見割合の高い業種（現金商売に多い）

令和 5 年事務年度の調査事績の概要（所得税）

調査件数 605, 077 件（うち実地調査件数 47, 528 件、簡易な接触 557, 549 件（電話等））

実地調査での 1 件当たりの申告漏れ所得金額 1, 160 万円（追徴税額 224 万円）

事業所得を有する個人の 1 件当たりの申告漏れ所得金額が高額な業種

1. 経営コンサルタント 2. ホステス・ホスト 3. コンテンツ配信

令和 5 年事務年度の相続税の申告事績

被相続人数（死亡者数）1, 576, 016 人中、9.9%の 155, 740 人が税額のある申告（外に税額のない申告 38, 121 人）

1 件当たりの課税価格 13, 891 万円（税額 1, 930 万円）

令和 5 年事務年度の相続税の実地調査事績

実地調査件数 8, 556 件（うち非違件数 7, 200 件）

実地調査 1 件当たりの申告漏れ課税価格 3, 208 万円（追徴税額 859 万円）

査察の概要

犯則調査のところでみていただいたように「悪質な脱税者」

令和 5 年度で処理件数 58 件（うち 1 件あたり脱税額 81 百万円 うち告発分脱税額 91 百万円）

課税庁の視点

法人税・所得税

売上の計上漏れがないか・・・

架空や過大に経費が計上されていないか・・・

個人的（プライベート）な費用が計上されていないか・・・

雑収入の計上漏れがないか・・・

棚卸（仕掛品）の計上漏れがないか・・・

売上や経費の計上時期

相続税

財産の計上漏れがないか・・・

相続人等の名義で実質は被相続人の財産はないか・・・

その他

源泉所得税

外注費か給与か・・・

年末調整

印紙

インボイス

よくある指摘事項（法人税・所得税）

売上の計上漏れや計上時期の間違い

個人的な経費の計上や経費の計上時期の間違い

棚卸（仕掛品）の計上漏れ

雑収入（鉄屑など・社宅家賃）の計上漏れ

よくある指摘事項（相続税）

相続人名義の被相続人の財産

生命保険に関する権利

過去の収入等の状況から・・・

法人で計上されている親族名義の借入金

最後に

税理士法第一条に立ち戻り、職務遂行していこうと思います。



「エコブリック・パイ・エコ・ブリック、ペルーのインターアクターがロータリーの魔法を学ぶ」

MY ROTARY「記事」11-Aug-2025 写真撮影: Monika Lozinska より掲載

ラケル・ロサノ・フェルナンデスが説明したように、使命は2つありました。ペルー・リマ・ロータリークラブの2024-25年度会長であるロサノは、リマクラブが後援するアブラハム・バルデロマール・インターアクト・クラブの顧問でもあります。ロサノ氏と他のロータリアンの指導の下、インターラクタースはペットボトルやその他のリサイクル可能な材料をエコレンガに変えるという野心的なプロジェクトに着手しました。その後、レンガはリマ市中心部の北にある自治体インデペンデンシアのベラビスタ学校のテーブルと椅子の作成に使用されました。

プロジェクトの一環として、インターアクターはベラビスタの学生をエコレンガの家具の製作に参加させ、それによって環境の持続可能性に関する有益な教訓を提供しました。

しかし、それはプロジェクトの一側面にすぎませんでした。

インターラクタースは、つながりに基づいたゲーム、歌、アクティビティであるラ・ギンカナを装って、若い生徒たちと社会的感情的なワークショップも実施し、その過程でリーダーシップと自信の構築に関する教訓を得ました。



完成したエコレンガは、プロジェクトの家具製造段階に向けて準備されます。



ベラビスタ学校の生徒、ブリタニ・アレホス・クチョさんは、プラスチックの端切れをリサイクルされたペットボトルに圧縮してエコレンガを作ります。エコレンガは後に学校のテーブルと椅子を作るために使用されます。



ベラビスタ・スクールの階段では、ロータリアン、インターアクター、学生が、自分たちの労働の成果と、新たに身につけた仲間意識を展示しています。